



気象庁が2018年にまとめた資料によると、大分市の平均気温は過去100年間で1.89度上昇しました。 2021年5月5日付 大分合同新聞1面

大分市 過去100年間で1.89度上昇

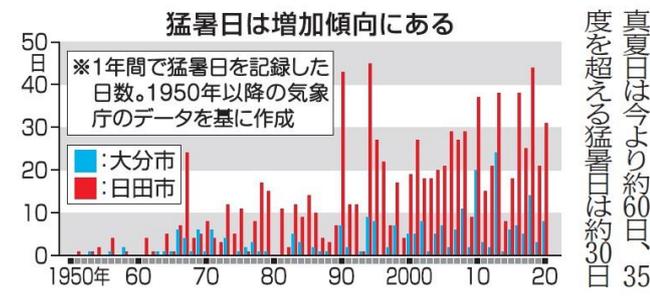
気象庁が2018年にまとめた資料によると、大分市の平均気温は過去100年間で1.89度上昇するなど、県内も温暖化が進んでいる。

将来予測は深刻だ。世界の対策が進まなかった場合、同市は今世紀末(76〜95年)の年平均気温が20世紀末(1980〜99年)よりも4.1度高い約20度になる。大分地方気象台は現在の種子島(鹿児島県)の年平均とほぼ同じになると指摘する。最高気温が30度を超える

① 大分市の平均気温は今世紀末に、20世紀末よりも4.1度高い約20度になるかもしれません。そうなった場合、どのようなことが起きると予測されますか。()の中に入る数字を書いてください。

★最高気温が()度を超える「真夏日」は今より約()日増え、1年の3分の1に当たる約120日になる。

★1時間に()ミ以上降る「非常に激しい雨」の発生回数は、約()倍に増加する。



同気象台は「長い目で見ると温暖化傾向は明らか。身近な生活にも影響が出てくる恐れがあることを知ってほしい」と話しています。雨の降り方もさらに極端になりそう。1時間に50ミ以上の「非常に激しい雨」の発生回数は約2倍に増加。一方、雨の降らない日も増える」と予測されている。

② グラフは大分市と日田市の猛暑日の推移を表しています。()に入る言葉を書いてください。

★猛暑日は、日田、大分の両市とも()傾向にある。

③ 大分地方気象台は「長い目で見ると温暖化傾向は明らか。身近な生活にも影響が出てくる恐れがあることを知ってほしい」と話しています。地球温暖化でどんな影響が出るか、話し合ってみましょう。